



東安居地区社会福祉協議会



初めての「新聞ちぎり絵」

東安居地区自治会型デイホームの水越会場で、新聞ちぎり絵を楽しみました。何よりお金もかからず、資源の再利用でエコな作品です。

「ぶどう」の下絵を準備しておいたので、新聞から下絵に似た色の部分を探すところから始まりました。貼る前は綺麗な色でも、糊を使うと裏のインクがにじんで色が黒っぽくなってしまふことがあるので注意が必要です。

そして、小さなパーツを指で少しずつちぎるのは結構大変な作業で、「思うような形になってくれんわ」「簡単そうに見えたけど難しいのう」等と言いながらも、幾つかのパーツが出来上がりました。今度はパーツを並べ配置が決まったら、糊で順番に貼っていきます。

皆さん四苦八苦しながらも、少しずつ形になってくると嬉しそう…ようやく作品が仕上がると、「どこに飾そうかしら」「誰に出そうかしら」と満足していただいた様子でした。

今回の作品は、東安居公民館のホールに展示する予定です。ぜひ多くの人に見て頂きたいです。

東安居地区専任職員 谷口 友子



清水東地区社会福祉協議会

思い鶴プロジェクトに参加!

清水東地区自治会型デイホームでは、2つの会場で「思い鶴プロジェクト」に参加しました。「思い鶴プロジェクト」とは、新型コロナウィルス収束への願いや医療従事者の方への感謝の気持ちを込めて、福井市の小中学生が折った折鶴を1本の糸に繋げるというプロジェクトです。

このプロジェクトへの協力依頼があり、最初は、「こんなに細かい作業に皆さんに協力してもらえるだろうか…」と心配しました。ところが、利用者さんは「孫も鶴折ってたわ」「子ども達が折ったのなら繋げてあげなあかんのう」と、どなたも嫌な顔ひとつせず、針と糸で鶴をたくさん繋げてくださいました。繋げた鶴の数は一千羽にもなりました!!

「思い鶴プロジェクト」は、今年の24時間テレビでも取り上げられ、デイホームで鶴を繋げている写真も紹介されました。細かい作業でしたが、達成感がありとても充実したデイホームになりました。

清水東地区専任職員 玉山 日富

